



野間辰美

〈長島・赤島の下〉

桃の節句の3月3日(日)に約半年ぶりぐらいに、長島のぼや港のしらなみさんに出かけた。釣り人は、私たちともう1組だけの4人。それとそのはず、天気予報では、九州南岸に低気圧が発生し、荒れ模様とのこと。ただ私的には、長島ならイケると変な確信があり(長年のカン?)、船長に連絡を入れると、「大丈夫ジャロ」とのこと。釣りに行く「喜びで、土曜の夜は、早めに出発し、待合所で仮眠をとらせてもらう。

他のお客さんが居ないので、人気磯の「赤島の下」に行きたいことを伝えると、「OK!」。久しぶりの「赤島の下」にドキドキ。何年釣りをしても、好きな磯、希望した磯に乗れた時は、ドキドキ・ワクワク感が込み上げてきます。(変ですか?)

この「赤島の下」は、長島海峡の真ん中に位置しているため、上げ潮・下げ潮ともに、本流釣りになりませんが、釣りやすいのは上げ潮だと

思います。

瀬場図を見てもらえば分かるように、下げ潮は、左から右に流れ、その先に割と大きな沈み瀬があり、流しすぎると根掛かりしてしまいます。現にこの日も2回根掛かりして、1回は、ウキごと流してしまいう始末。もう少し下げ潮が左斜め沖から入ってくる時は、C点からの釣りが、いいと思います。

今日の潮は、朝の7時頃が満潮で、干潮が午後1時頃なので、勝負は、午後からの回収の4時までの上げ潮に期待します。ちなみに午前中の下げ潮は、クロロしきアタリは



2回で、1回はハリ外れで、もう1回は、沈み瀬の際でアタツてギューンギューンブチで、糸がザラザラで、結局ノーフィッシュです。

〈マキエサ〉

今回用意したエサは、オキアミ生3kgを3角。アミエビは、レンガブロックを2角、そして配合エサは、マルキューのグレパワーVSPとV10スペシャル、そして遠

投ふかせスペシャルを各1袋ずつを準備します。これを2回に分けて作ります。
まずアミエビを細かくつぶして、においを出させます。次にオキアミ1.5角を適量につぶします。その後に海水を入れてよく混ぜます。普通は、配合エサを入れてからですが、



先にオキアミを海水にひたして、浮き上がりを防ぎます!!



VSPは、「寄せる」「浮かせる」そして食いを持続させて「足止め」させます!!

果が絶大で、本流でも効果を発揮してくれま

〈実釣〉

12時頃から下げ本流が弱くなってきたのを機に、2回目のマキエを作っておきます。そして道糸も交換します。

午前中の下げ潮で、ラインブレイクなどがあり、少し短くなっているの、同じ号数のブラックストリーム1.75号にスプール交換します。先のマスラードは、150mで今度のは、200m近く巻いてある物で、上げ潮のぶつかりまで、余裕をもって流せます。後は、仕掛け図を参照して下さい。

午後1時過ぎ、待ちに待った上

げ潮が行き出します。ちなみにこの日の水温は、朝計った時は、14度前半だったので、上げ潮になって、いくぶんか上がってくればと思つてます。同じ14度台でも、前半なのか後半なのかで、魚の食いは、全然違ってからです。

さて、打ち返すも、付けエサをさ

わる感じがないので、タナ調整用オ

モリをG2からBに上げて、少しだけ

深く釣ると、竿引きのアタリ。距離

は、100mぐらい。そこから慎重に

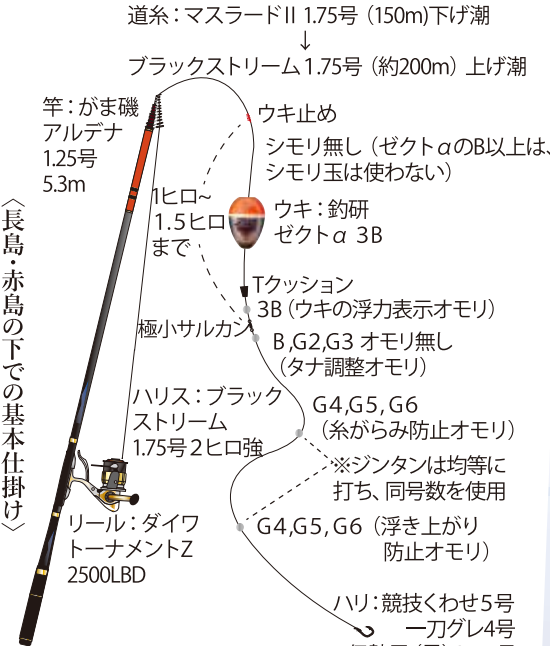
寄せて来ますが、途中、張りついた

特集

本流釣りをマスターしてみませんか!?



天草市 早崎 長島海峡 戸島 三和フェリー 出水郡長島町



※潮が速い時は、ハリスのジグタンはG4を使い、遅い時、もしくは、魚の食いが悪い時は、G5、G6と軽くして、ハリスのなじみをより自然に近づけます。※タナ調整オモリは、どんどん変えます。タナが深い時はB、タナが浅い時はG3、もしくは、オモリ無し(活性が高い時)まで変えます。※ウキ止めは、なじみを速くしたい時は、1ヒロ以内(サルカン上)で、逆に遅くしたい時、もしくは、魚に仕掛けの抵抗を与えないようにスルスルで釣る時は、1.5ヒロまで上げると、本流釣りでは、スルスルになりやすくなります。

前半の下げ潮時、沈み瀬の際でアタッてギューンギューンブチでノーフィッシュ

